



桃山学院大学
St. Andrew's University

2022 年 2 月 16 日

報道関係各社 御中

桃山学院大学は、今年もクエストカップに協賛します

探究学習プログラム「クエストエデュケーション」の

全国大会「クエストカップ 2022」

2022 年 2 月に開催決定！

【本件ポイント】

- ◎新学習指導要領で注目を集めている「探究学習」。
- ◎全国 36 都道府県、320 校で約 6 万 1,000 人の中高生が取り組む探究学習プログラム「クエストエデュケーション」の全国大会「クエストカップ 2022」が、2 月にオンラインで開催されます。
- ◎桃山学院大学は、昨年に引き続き今年も協賛大学としてクエストカップに参加します。
- ◎「社会や企業等の課題を、新しい価値（ビジネス）によって解決する人の養成」を掲げるビジネスデザイン学部の教員、学生が「スモールスタート」部門の審査を担います。
- ◎本大会に参加する、本学関係者などに個別インタビューが可能です。

QUEST CUP 2022

【詳細】

新学習指導要領により、2022 年度から高等学校では新たに「総合的な探究の時間」が始まります。「不安定 (Volatility)」「不確定 (Uncertainty)」「複雑性 (Complexity)」「曖昧性 (Ambiguity)」の時代、いわゆる「VUCA」の時代において、「自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力※」を育成することを目指し、旧課程の「総合的な学習の時間」から改訂されるものです。

一部では一足早く「探究」を授業に取り入れ、実践している高等学校もあります。

桃山学院大学（大阪府和泉市、学長：牧野丹奈子、2021 年 5 月 1 日時点：学生数 6,493 人）では、昨年に引き続き、株式会社教育と探求社が提供する探究学習プログラム「クエストエデュケーション」の全国大会「クエストカップ 2022 全国大会」に協賛することとなりました。

同プログラムは、2022年2月19日(土)～27日(日)の中の5日間、オンラインにて開催されます。このうち本学では2月20日(日)実施予定の「スモールスタート」部門に設けられた「ブラックスワン賞」の審査員として、ビジネスデザイン学部の教員および学生が参加します。

クエストエデュケーションは全国36都道府県、320校で約6万1,000人の中高生が取り組む探究プログラムです。その集大成として、自らの探究の成果を社会に向けて発信するのが「クエストカップ全国大会」となります。2022年大会は、過去最高となる31都道府県154校から4098チームの応募があり、予選審査の結果130校261チームが全国大会に出場します。

クエストカップ2022全国大会の様子は、YouTubeで無料配信される予定です。

【クエストカップ2022 全国大会詳細】

- ・ **期間**：2022年2月19日(土)～27日(日)
(本学が参加する起業家部門「スモールスタート」は2月20日(日)に開催予定)
- ・ **形式**：オンライン および各会場
- ・ **視聴方法**：YouTubeにてライブ配信（視聴無料）
- ・ **特設サイト**：<https://questcup.jp/>
- ・ **主催**：クエストカップ実行委員会 / 教育と探求社
- ・ **協賛**：《企業》 Adecco Group / カルビー / 大正製薬 / 大和ハウス工業 / テレビ東京 / 博報堂 / パナソニック / フォレストアドベンチャー / 富士通 / 三菱地所 / メニコン / 吉野家ホールディングス(五十音順)
《大学》 デジタルハリウッド大学 / 武蔵野大学アントレプレナーシップ学部 / 桃山学院大学(五十音順)
- ・ **後援**：経済産業省 / 文部科学省 / 京都府教育委員会 / 埼玉県教育委員会 / 東京都教育委員会 / 尼崎市教育委員会 / 横浜市教育委員会 / 立教大学経営学部
- ・ **協力**：一橋大学イノベーション研究センター

【昨年大会(クエストカップ2021)の様子】

<https://quest.edu.jp/questcup2021tokushu/>

【クエストカップ2022 とは】 (<https://questcup.jp/>)

全国各地の中高生4,098チームの応募の中から審査を通過した261のチームが、この1年で取り組んできた探求の成果を、思う存分発表します。世の中の「当たり前」を揺るがすような独創的な視点、身の回りで見つけた、本質に突き刺さる「問い」、探求の中で育んできた仲間への信頼や学びへの冒険心。生徒たち一人ひとりの学びや成長が感じられるだけでなく、見る方々のなにかが震え、変わる大会です。

【「スモールスタート」起業家コースとは】 (<https://quest.edu.jp/smallstart/>)

教育と探求社が提供する探究学習のコースの一つ。日常生活から「新商品」の種を発見し、新商品開発に取り組むアントレプレナーシップ型のプログラムが特徴です。「リーンスタートアップ」などの起業メソッドを盛り込み、インタビューや競合調査、試作品づくりなどを通じて、生徒が主体性を発揮し、協働しながら価値を創造する力を育みます。

【「スモールスタート」ブラックスワン賞とは】

「スモールスタート」には、厳正な審査を経て選ばれた15チーム（優秀賞受賞チーム）が出場します。協賛校の教員3名が独自の視点で審査し、各校で1チームずつ「ブラックスワン賞」を決定いたします。

「ブラックスワン賞」の趣旨は、かつて「存在しない」と思われていた「黒い白鳥」が発見されて以来、経済領域で「想定外の事態が起こり得る」という意味で使われる「ブラックスワン」にちなみ、新たな「常識」を生み出す商品やサービスを探求するチームの挑戦をたたえるものです。

【「スモールスタート」開催情報】

2022年2月20日（日）10:00～14:45 YouTube Liveにて開催

《視聴用 URL》

<https://questcup.jp/schedule>

※こちらのサイトのDay2に「スモールスタート」の視聴ボタンがあります。

《クエストカップ2022全国大会起業家部門「スモールスタート」の概要》

<https://questcup.jp/course/small-start>

《「スモールスタート」出場チームと作品名》

https://questcup.jp/nominations_list#small-start

【ブラックスワン賞審査員の紹介（メッセージ） ※順不同】



稲田 優子先生

（桃山学院大学ビジネスデザイン学部講師）

可能性に満ち溢れている皆さんへ
不確実で複雑な社会において、自ら課題を見つけて、考え、知識や経験を活用しながら、仲間とともに課題解決のために取り組まれているその姿はとても素晴らしいです。想いを伝える1つ1つの行動が、皆さんの未知なる可能性をさらに引き出し、より良い社会へのワンステップにつながります。ワクワク&ドキドキしながら、人々に笑顔を届けるためにベストを尽くされている皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！



伊藤 羊一先生

（武蔵野大学アントレプレナーシップ学部 学部長 /Zホールディングス株式会社 Zアカデミア学長）

クエストカップは「自らの探求の成果を社会に向けて発信する場」です。私たちはみなさんの成果を「審査」しますが、そこにあまり意味はありません。この場で「勝つか負けるか」など、どうでもいいのです。自分たちが突っ込んだこと、気づいたことに対して、これはすごい！と自分たちが思うのであれば、その想いを自信をもって発信してください。みなさんの「想い」に触れられることを、心から楽しみにしています。



福岡 俊弘先生

（編集者 / デジタルハリウッド大学教授 / 合同会社スノウクラッシュ代表社員）

ビジュアルプログラミング言語「Scratch」を考案したMITメディアラボの教授、ミッチェル・レズニック氏は、人類のもっとも偉大な発明は「幼稚園」と語っています。この話は、創造性の原点が何であるか、どこにあるかを教えてください。「幼稚」なひらめきの中にこそ、真にクリエイティブな未来が含まれている、そんなプレゼンテーションを見たいと思います。

【協賛大学について ※順不同】



桃山学院大学ビジネスデザイン学部

(<https://www.andrew.ac.jp/businessdesign/>)

VUCA の時代において「チームで新しいビジネスを創造する力」を有し、社会の課題を解決していく人の養成を目指し、2019年にビジネスデザイン学科を設置。2021年には定員を200人に拡大、学部として始動した。70を超える企業や団体、自治体などと連携した実践型授業を通し、社会や企業の課題に1年次から取り組む。大阪市阿倍野区に新設されたキャンパス「あべのBDL(ビジネスデザイン・ラボ)」は、交流と共創を促す最新の設計でビジネスを生み出す空間にもなっている。

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学アントレプレナーシップ学部

(<https://www.musashino-u.ac.jp/academics/faculty/entrepreneurship/>)

2021年4月「アントレプレナーシップ」と冠した日本初の学部を開設。学部長にはベストセラー『1分で話せ』の著者であり、Zアカデミア学長を務める伊藤羊一氏が就任。実践中心でマインドとスキルを鍛えるカリキュラム、社会の最前線で活躍する起業家やNPO代表、ベンチャーキャピタリストなど現役実務家を中心とした教員、1年次の全員入寮など他大学にない特徴を持ち、「自分の思考と行動で、世界をより良い場所にできると本気で信じる人を増やす」ことを目指している。



デジタルハリウッド大学

(<https://www.dhw.ac.jp/>)

2005年4月に開学した文部科学省認可の株式会社立の大学。デジタルコミュニケーション学部ではデジタルコンテンツと企画・コミュニケーションを産業界の第一線で活躍する教員から幅広く学ぶ一学部一学科制を採用。不確実で予測不能な未来を、自分らしく生き抜く力を身につける。さらにグローバル人材の育成の観点から外国語の重点的な学習プログラムを備え、留学を推進している。42か国・地域出身の学生が在籍、東京・御茶ノ水駅前でも多様性に富むキャンパスを運営している。

【桃山学院大学ビジネスデザイン学部に関する詳細】

桃山学院大学ビジネスデザイン学部は、「VUCA」の時代において「新しい価値(ビジネス)を、チームで創造する力を有し、社会の課題を解決できる人」の養成を目指して、2019年度にその前身となる経営学部ビジネスデザイン学科を設置、2021年に「ビジネスデザイン学部」として入学定員を70名から200名に拡大、新たにスタートをした学部です。

70を超える企業や団体、自治体などと連携して実施される実践型の授業を通して、社会や企業が抱える課題に1年次から取り組んでおり、その数は年間約30にも上ります。

そのカリキュラムも特徴的で、通常「理論⇒実践」の順で学習を進めるケースが多い中、同学部では「まず実践をしてから専門理論を学ぶ」従来とは「逆さまのカリキュラム」で授業が行われています。全く知識のない中

で専門的な理論を学ぶのではなく、まずは企業や団体、自治体から提示される課題に実践形式で取り組み、そこでの経験を踏まえたうえで専門的な理論を学ぶことで、学習効果を高める狙いがあります。

このような学習方法の成果として、各種ビジネスプランコンテストなどで学生が複数入賞するなど、実績を出しています。

同学部が学びの拠点としている、あべのBDL(ビジネスデザイン・ラボ)は、2020年に大阪市内に竣工した同学院の聖テモテ館内(4階-9階)に位置しており、梅田駅から徒歩も含めて24分というアクセスしやすい場所にあります。

また、キャンパス内は従来の教場イメージではなく、新たなビジネスを生み出すための学びの空間として近年企業等でワーキングスペースとしても取り入れられている、交流と共創を促す最新のフロア設計となっています。

そのような環境が評価され、聖テモテ館は2021年グッドデザイン賞を受賞しています。

●ビジネスデザイン学部に関する各種ムービーは、各QRコードよりご確認ください。



ビジネスデザイン学部イメージ動画



ビジネスデザイン学部へ潜入調査！

〈本学の新型コロナウイルス感染防止対策については、大学Webサイトをご覧ください〉

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防マニュアル

<https://www.andrew.ac.jp/newstopics3/2020/h1026a000000oos0.html>



※ 文部科学省「高等学校学習指導要領(平成30年)」

以上